



KOTO City in TOKYO  
スポーツと人情が熱いまち 江東区

# 論点データ集

平成 31 年 4 月

政策経営部企画課



## 目次

大綱1（水と緑豊かな地球環境にやさしいまち）	…1
大綱2（未来を担う子どもを育むまち）	…15
大綱3（区民の力で築く元気に輝くまち）	…35
大綱4（ともに支えあい、健康に生き生きと暮らせるまち）	…51
大綱5（住みよさを実感できる世界に誇れるまち）	…69
基礎データ	…89



# 大綱1 水と緑豊かな地球環境にやさしいまち

## 掲載データ一覧

掲載データ	
<b>論点1 水辺と緑に彩られたまちの形成</b>	
①	公園面積の状況
②	一人当たりの公園面積の推移
③	緑被率の推移、緑被分布図
④	緑視率ランク、緑視分布図
⑤	緑が豊かであるかの実感
⑥	今後参加したい、充実させて欲しいと思う緑に関する事業
⑦	CIG(緑化推進事業の総称)の認知度
⑧	水辺・潮風の散歩道整備状況・河川の整備状況(護岸延長)
⑨	公共施設の緑化状況
<b>論点2 地球温暖化対策と環境保全</b>	
①	二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )の排出量の状況
②	二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )排出量の推移
③	カーボンマイナスこともアクション二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )削減量の累計
④	地球温暖化防止設備導入助成事業を知っている区民の割合
⑤	再生可能エネルギー設備を導入した区施設一覧
⑥	公共施設のエネルギー消費量の推移
<b>論点3 循環型社会の形成</b>	
①	ごみ量の推移
②	一人当たり1日のごみ量と資源化率の推移
③	家庭ごみの組成
④	資源回収量の状況
⑤	ごみ減量の取組状況

# 水と緑豊かな地球環境にやさしいまち

## 論点

- ①水辺と緑に彩られたまちの形成
- ②地球温暖化対策と環境保全
- ③循環型社会の形成

### 論点1 水辺と緑に彩られたまちの形成

- これまでの区の実績・現状
- ・ 江東区では、平成24年に策定した「江東区CIGビジョン」に基づき、緑の施策を推進してきました。
  - ・ 河川や運河沿いに水辺に親しめる散歩道の整備や、老朽化した区立公園等の改修を通して、水辺と緑のネットワークづくりを進めました。
  - ・ 学校の校庭芝生化や屋上・壁面緑化及び街路樹充実など、公共施設の緑化を実施しています。
  - ・ 公園面積は20年前と比較すると増加しており、区面積に対する公園面積の割合は23区中4番目、また、河川や運河の護岸整備が進み、都・区管理河川の護岸延長は23区中2番目となっています。

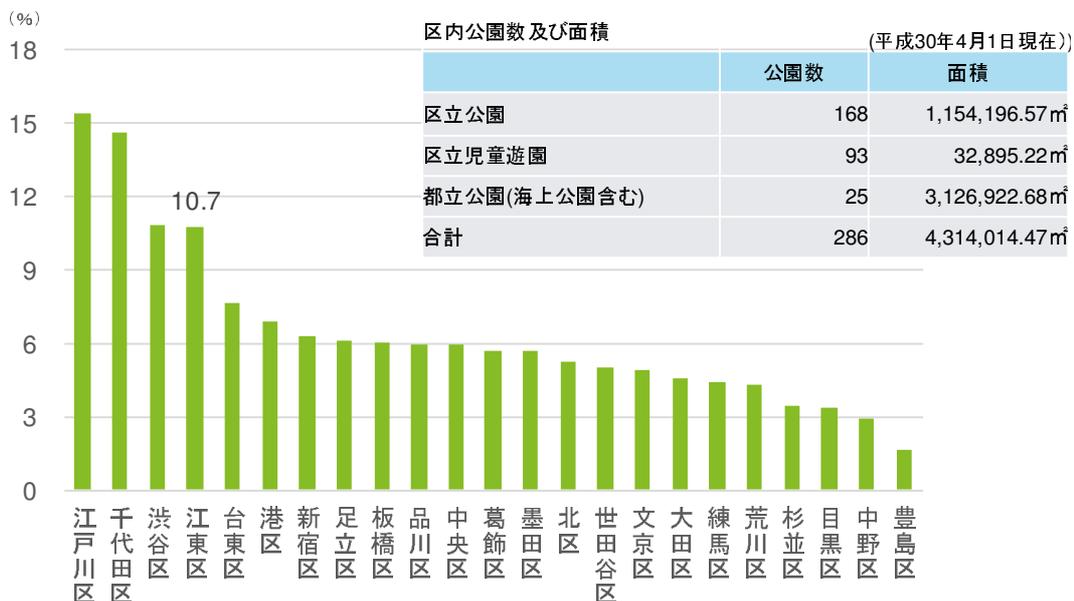
- 社会状況
- ・ 地球温暖化やヒートアイランド現象等の問題を通じて、都市における水辺や緑の重要性が再認識されています。

- 課題
- ・ 臨海部などの開発が進む地域などで緑被率の減少が見られます。
  - ・ 分断されている水辺・潮風の散歩道の整備を行い、水辺と緑のネットワーク形成を高めていく必要があります。
  - ・ 緑化推進事業(CIG)など、緑に関する区の実績の認知度を上げる必要があります。
  - ・ 緑化の実績は、区だけでなく区民、事業者との連携・協働が必要です。
  - ・ 緑の量だけでなく質の向上も求められています。

### 論点1 水辺と緑に彩られたまちの形成

#### ① 公園面積の状況

✓ 区総面積に対して、およそ1割が公園面積となっており、その割合は23区中4番目となっている



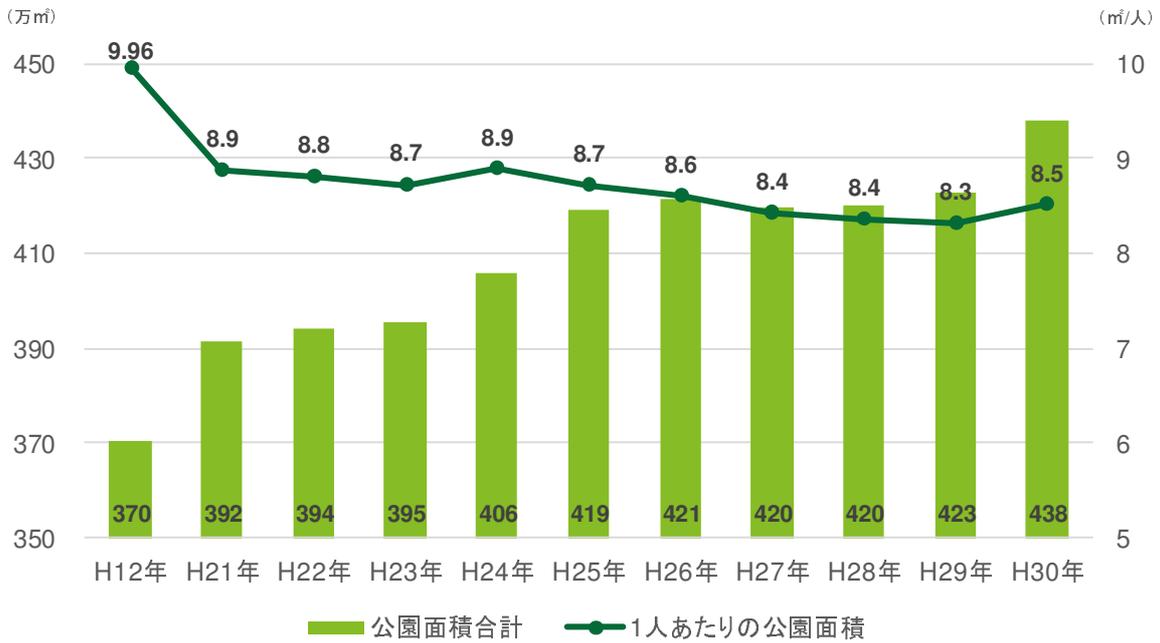
公園面積には都立公園(海上公園)を含む。

出典：特別区協議会「特別区の統計(平成29年度版)」  
河川公園課資料

論点1 水辺と緑に彩られたまちの形成

② 一人当たりの公園面積の推移

- ✓ 公園面積は平成12年度との比較で約68万㎡増加するなど、増加傾向にある
- ✓ 一人あたりの公園面積は、急激な人口増加により減少していたが、豊洲ぐるり公園の整備により、平成30年に6年ぶりに上昇に転じている



出典：河川公園課資料

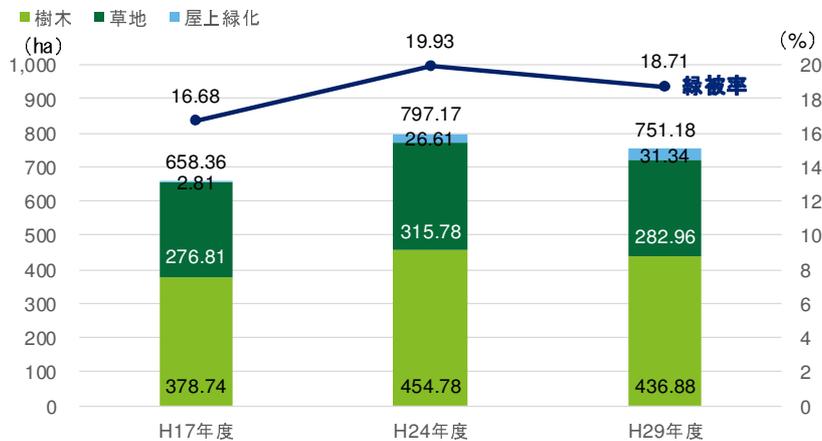
論点1 水辺と緑に彩られたまちの形成

③ 緑被率\*の推移、緑被分布図

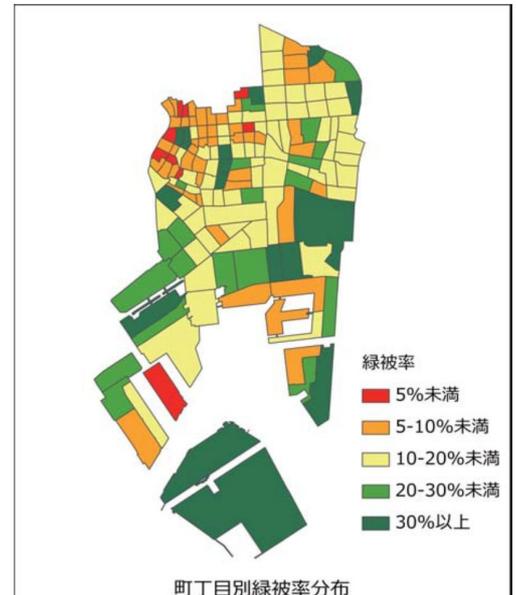
\*緑被率:特定の地域の面積に対して樹木や草木、屋上緑化等が占める割合

- ✓ 未利用地が多く残る臨海部での開発による樹木、草地の減少により、緑被地面積及び緑被率ともに減少している
- ✓ 緑被率を町丁目別に見ると、未利用地が多く残る臨海部(区南部)で高く、区北部で低く、地区により差が生じている

緑被率の推移



緑被分布



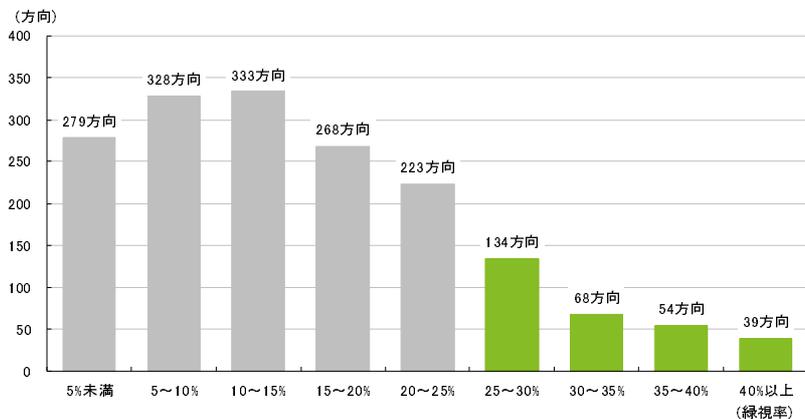
出典：平成29年度江東区緑被率等調査報告書

論点1 水辺と緑に彩られたまちの形成

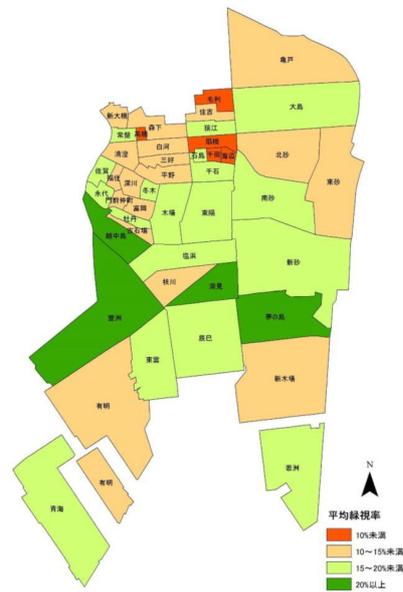
④ 緑視率\*ランク、緑視分布図

- ✓ 区全域の平均緑視率は15.4%である
- ✓ 500の交差点、1,726の方向の緑視率の分布状況は、緑が多いと感じる緑視率25%以上の地点が67交差点で約13%、295方向で約17%である
- ✓ 緑視率は樹木の多いところほど高くなるため、街路樹が整備された道路の多い地域、公園緑地や緑地の多い施設がある地域は緑視率が高い傾向にある

緑被率ランク



緑視分布図(町目別緑視率分)



\*緑視率: 人の眼に映る緑の量を数値化したもので、定点を決め、一定基準のもとで撮影した、まちの風景の写真の、緑量の割合から算出する。

国土交通省が行った調査によると、緑視率が高い場所ほど、その場所について「安らぎのある」「さわやかな」「潤いのある」と感じる人の割合が高いとされている。(出典: 国土交通省「都市の緑量と心理的効果の相関関係の社会実験調査について」)

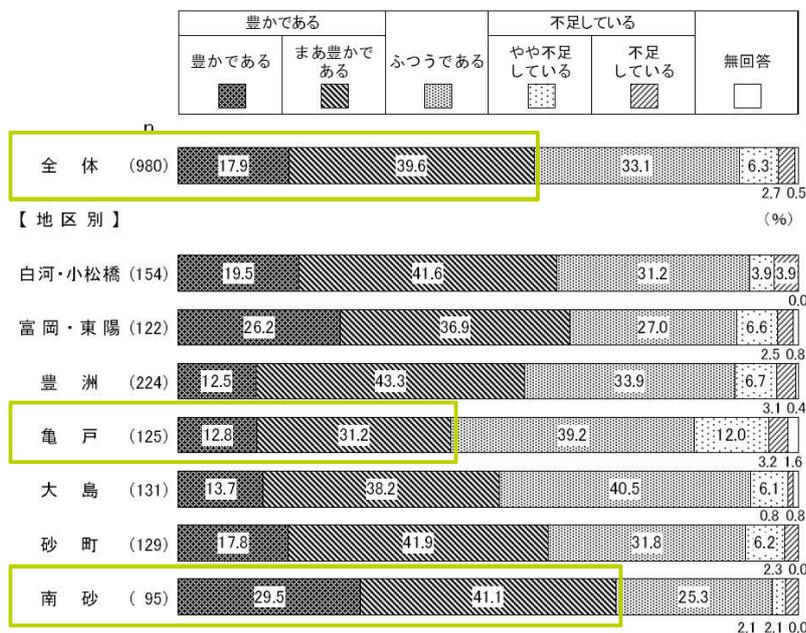
出典: 緑視率調査及び緑化余地検討業務総括報告書(平成26年3月)

論点1 水辺と緑に彩られたまちの形成

⑤ 緑が豊かであるかの実感

- ✓ 区全体では、約6割の方が緑が豊かであると実感している
- ✓ 地区別に見ると、「豊かである」と回答した方は、南砂地区では7割近くだが、亀戸地区では4割強に留まっている

図表 13-2-2 江東区の緑が豊かだと思うかー地区別



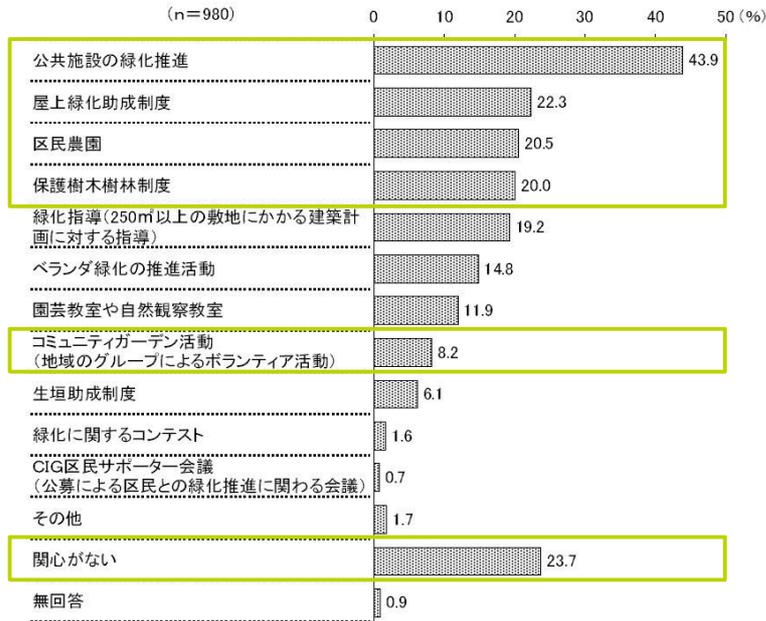
出典: 第23回江東区政世論調査(平成29年度)

論点1 水辺と緑に彩られたまちの形成

⑥ 今後参加したい、充実させて欲しいと思う緑に関する事業

- ✓ 公共施設の緑化推進が4割を超え最も高く、次いで屋上緑化助成制度、区民農園、保護樹木樹林制度が2割を超えているがコミュニティガーデン活動は1割弱となっている
- ✓ 一方、関心がないと回答した方が、23.7%と2番目に多い

図表 13-3-1 今後参加したい、または充実させて欲しいと思う緑に関する事業（複数回答）



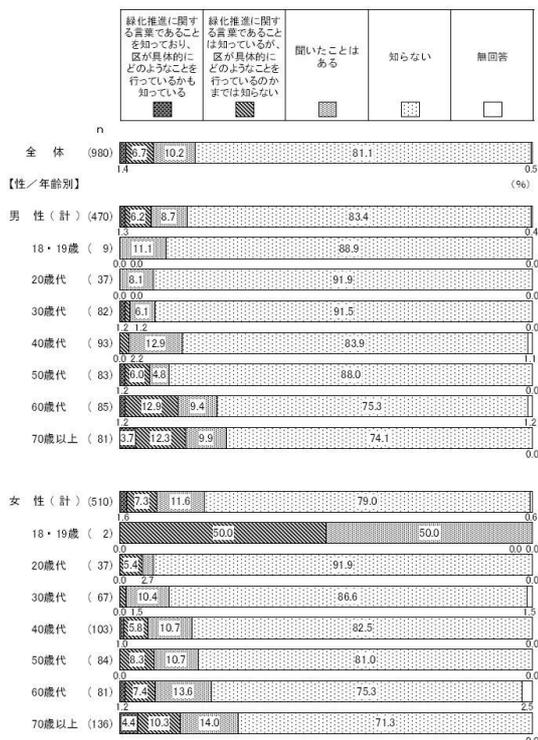
出典：第23回江東区政世論調査(平成29年度)

論点1 水辺と緑に彩られたまちの形成

⑦ CIG\* (緑化推進事業の総称)の認知度 \*CIG:「江東区 CITY IN THE GREEN」の略称

- ✓ 10代女性を除いて、各年代で「知らない」と回答した方が7割を超え、認知度が低い状況である
- ✓ 男女とも特に20代、30代の認知度が低い

図表 13-1-2 「CIG」の認知状況—性別・性/年齢別



**CIGとは**

「江東区 CITY IN THE GREEN (CIG)」とは、本区の緑化推進事業の総称で、都市の中の緑ではなく、「緑の中の都市」をイメージしたまちづくりに、区内のさまざまな場所で、さまざまな主体と連携しながら積極的に取り組んでいくもので、平成24年7月に「江東区 CIGビジョン」を策定しました。

江東区 CIGビジョン      江東区 CITY IN THE GREEN 実現のイメージ

**みどりのまちなみ緑化助成制度**

緑の中の都市(CITY IN THE GREEN)づくりをご自宅から始めてみませんか

1 屋上緑化      2 生垣緑化      3 壁面緑化

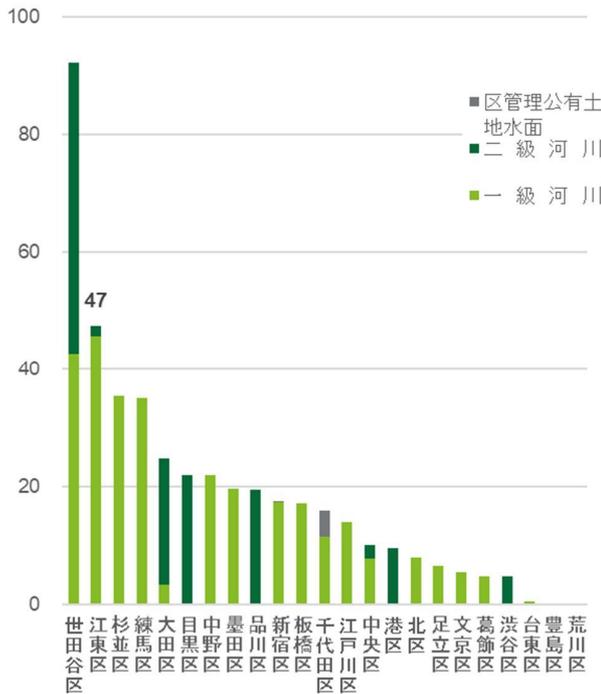
区では、自宅などの道路に面した部分に生垣などを作る際や屋上や壁面の緑化を行う際の工事費の一部を助成しています。

出典：第23回江東区政世論調査(平成29年度)

論点1 水辺と緑に彩られたまちの形成

⑧ 水辺・潮風の散歩道整備状況・河川の整備状況(護岸延長)

- ✓ 23区内で、2番目に河川(護岸延長)が多くなっている
- ✓ 水辺の散歩道(20,471m)、潮風の散歩道(8,600m)の整備状況となっている



出典: 東京都建設局河川部資料(平成29年4月1日現在)



整備延長 (平成30年4月1日現在)

水辺の散歩道	20,471m
潮風の散歩道	8,600m

※東京都施工及び未開放部分も含む  
 ※潮風の散歩道の整備延長は80mの未開放部分(塩見2-8地先)を含む。平成31年度末までにその先を整備し開放予定

出典: 河川公園課資料

論点1 水辺と緑に彩られたまちの形成

⑨ 公共施設の緑化状況

- ✓ 公共施設の新増築・改修工事に併せて、屋上・壁面緑化を実施している

施設名	年度	<屋上緑化/面積(m <sup>2</sup> )>	<壁面緑化/面積(m <sup>2</sup> )>	施設名	年度	<屋上緑化/面積(m <sup>2</sup> )>	<壁面緑化/面積(m <sup>2</sup> )>	施設名	年度	<屋上緑化/面積(m <sup>2</sup> )>	<壁面緑化/面積(m <sup>2</sup> )>	
1 江東区庁舎		6.20		14 有明スポーツセンター		1,082.88		38 グランチャ東雲	H22	135.00	244.22	
		13.96		15 亀戸図書館		67.70		39 塩崎保育園	H23	204.49	77.94	
		357.42		16 東雲区民館跡保育園		8.00		40 新砂保育園	H24	122.00	61.99	
2 総合区民センター		85.54		17 亀戸福祉園		—	壁面緑化	41 豊洲小学校	H23	42.400		
		23.10		18 第一大島小学校		154.58		42 城東保育園	H24	142.00	15.00	
江東区文化センター		29.75		19 毛利保育園		157.00		43 東砂小学校	H24		126.00	
		40.56		20 防災センター		129.00		44 平久小学校	H24		37.00	
3 砂町文化センター		18.75		21 枝川小学校		333.00		45 第二亀戸中学校	H25	168.00	41.10	
4 カメラアブラザ			南面外壁緑化	22 豊洲北小学校		44.00		46 大島中学校	H25		61.00	
5 江東公会堂		557.11		23 東陽児童館		67.00		47 扇橋小学校	H25		54.10	
6 男女共同参画推進センター		14.16		24 環境学習情報館		542.00		48 小名木川保育園	H25	190.5	63.64	
		106.86		25 深川第三中学校	H19	437.26		49 豊洲西小学校	H26	1084.59	231.75	
7 砂町出張所		66.00		26 千田福祉会館	H19	178.78		50 豊洲ビックセンター	H27	355.12	199.58	
8 児童会館		100.80		27 富岡出張所	H19	77.51	7.20	51 森下保育園・児童館	H27	85.37	35.94	
9 亀戸福祉園		19.16		28 大島南中央小学校	H20	353.00		52 第二亀戸小学校	H27	122.43	168.00	
10 障害者福祉センター		106.82		29 亀戸福祉会館	H20	481.87		53 東雲小学校	H27	173.00	86.00	
11 北砂ホーム		69.52		30 第五砂町小学校	H21	361.70	34.20	54 南陽小学校	H27	201.48		
		67.56		31 千田保育園	H21	67.61		55 有明西学園	H29	1,409.74	546.78	
12 深川第八中学校		8.22		32 元加賀小学校	H21	153.75		56 第五大島小学校	H30	565.30	299.97	
		153.55		33 塩浜保育園	H21	84.00		57 香取小学校	H31	未定	未定	
		6.24		34 豊洲北小学校	H21	374.00	55.29					
13 教育センター		27.84		35 明治小学校	H21	89.90	24.00					
		1,633.55		36 南砂出張所(南砂2-6保育園)	H22	135.06	14.80	出張所壁面				
		199.93		37 有明小・中学校	H22	1,199.00	939.00					
										(注) 網掛けは屋上緑化要件を満たさないため実績数値には含まない。	計 15,510.1 m <sup>2</sup> (計画予定含む)	計 3,424.5 m <sup>2</sup>

出典: 温暖化対策課資料

## 論点2 地球温暖化対策と環境保全

これまでの区の取組・現状

- 江東区では、環境学習情報館などでの環境教育や、小学校でのカーボンマイナス子どもアクションの継続的な実施、省エネルギー設備導入助成などに取り組んできました。

社会状況

- 2015年12月に気候変動抑制に関する多国間の国際的な協定である「パリ協定」が採択され、地球温暖化に対する取組がより一層求められています。
- 国連サミットにおいて採択された持続可能な開発目標(SDGs)が重要視されるなど、良好な環境を次の世代に引き継ぐことについて、社会的意識の高まりがみられます。

課題

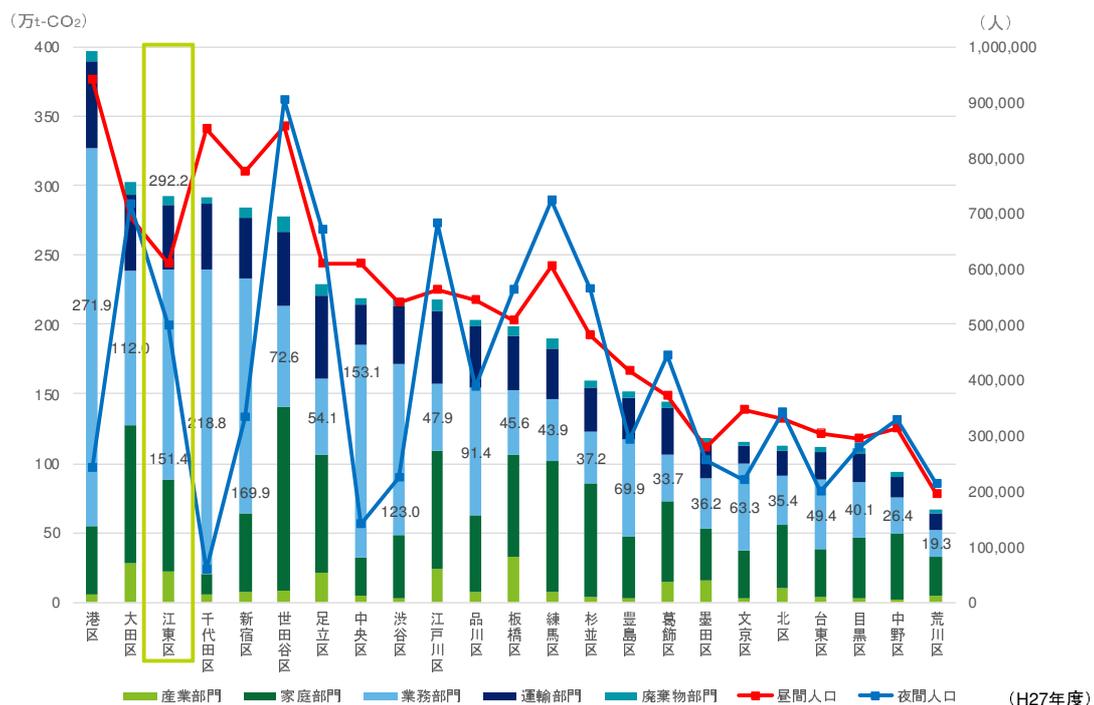
- 区民一人ひとりが環境問題を意識し、自主的・積極的に環境保全活動に取り組めるよう、区民へのさらなる働きかけが必要です。
- 区施設への再生可能エネルギー設備の設置や、省エネルギー設備等の導入及び次世代自動車の購入への助成制度等によりCO<sub>2</sub>削減の取組を継続する必要があります。

## 論点2 地球温暖化対策と環境保全

### ① 二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量の状況

✓ 業務部門\*の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量の占める割合が他区と比べ大きく、人口規模が比較的大きいことが排出量が多い要因として挙げられる

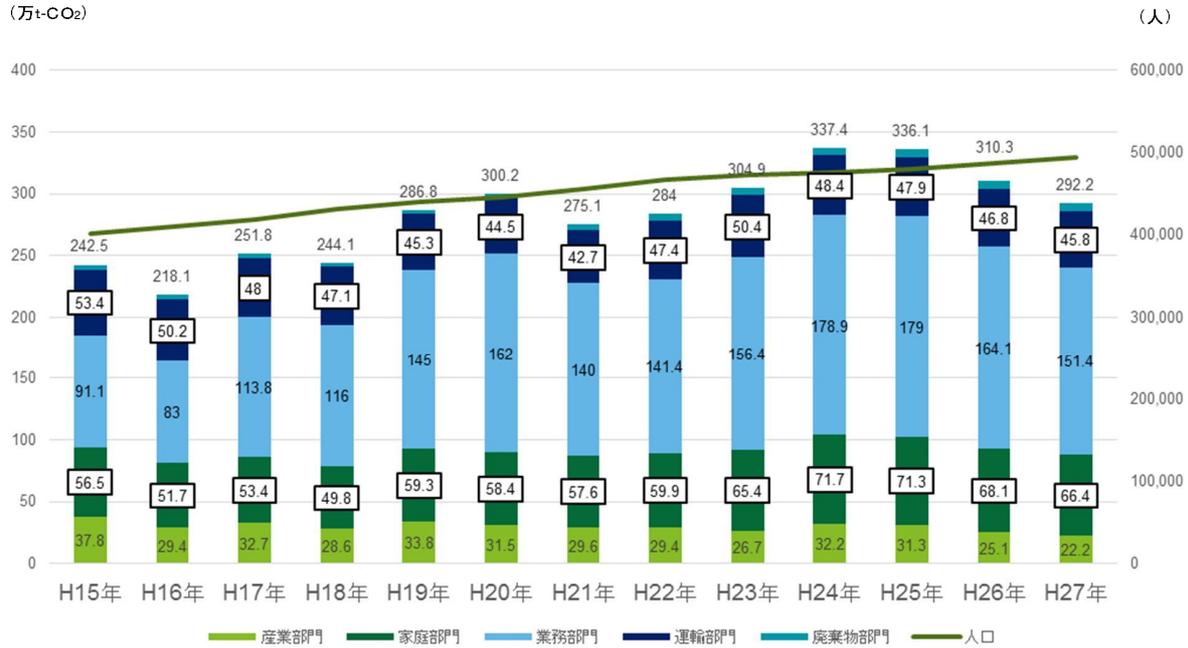
\*業務部門:第三次産業(水道・廃棄物・通信・商業・金融・不動産・サービス業・公務など)に属する企業・個人が、事業所の内部で消費したエネルギー消費



出典:特別区協議会「特別区の温室効果ガス排出量」  
総務省統計局「平成27年国勢調査報告」

## ② 二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量の推移

- ✓人口増加を背景とした家庭部門と業務部門における排出量の増加が続いていたが、平成25年以降、総量としては減少に転じている
- ✓CO<sub>2</sub>排出係数\*が減少していることや、再生可能エネルギーの普及、省エネ行動の徹底等が要因として挙げられる  
\*CO<sub>2</sub>排出係数…電力会社が一定の電力を作り出す際にどれだけの二酸化炭素を排出したかを推し測る指標



出典：特別区協議会「特別区の温室効果ガス排出量」

## ③ カーボンマイナスこどもアクション二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)削減量の累計

- ✓カーボンマイナスこどもアクション二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)削減量の累計は、順調に増加している



出典：温暖化対策課資料

### カーボンマイナスこどもアクション

カーボンマイナスこどもアクションは、平成20年度に開始した省エネ啓発事業です。

全区立小学校および義務教育学校前期過程5・6年生を対象に毎年6月の1ヶ月間、「環境に配慮した行動」に取り組んでもらい、成果を記録してもらいます。

平成31年度までに累計1,700トン、平成36年度までに累計2,800トン、本取組によって抑制された二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)削減量の目標値としています。

論点2 地球温暖化対策と環境保全

④ 地球温暖化防止設備導入助成事業を知っている区民の割合

✓ 助成事業を知っている区民の割合は減少している

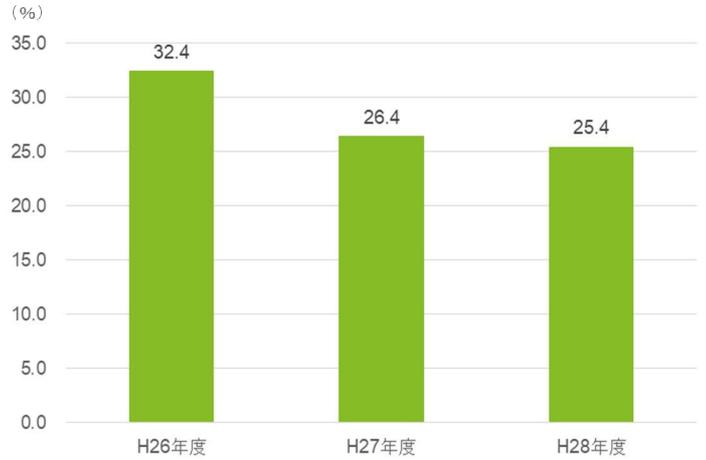
地球温暖化防止設備導入助成事業

区内に太陽光発電や省エネルギー設備等を導入する個人・事業者・管理組合等に対し、設置費用の一部を助成し、地球温暖化防止対策を推進します。

「地球温暖化防止設備導入助成事業」対象設備及び助成金額一覧表(平成30年4月現在)

助成対象項目 ( )内は上限額	助 成 金 額			
	【住宅用】		【事業所用】	
太陽光発電システム	太陽電池モジュールの公称最大出力の合計値 1kw当たり 5万円 (20万円まで 集合住宅は150万円まで)		太陽電池モジュールの公称最大出力の合計値 1kw当たり 5万円 (20万円まで)	
CO2冷媒ヒートポンプ給湯機 (エコキュート)	(1設備あたり4万円まで)		(1設備あたり8万円まで)	
燃料電池装置 (エネファーム)	(1設備あたり10万円まで)		(1設備あたり20万円まで)	
エネルギー管理システム機器 (HEMS・MEMS)	(1設備あたり2万円まで 集合住宅は16万円まで)		(1設備あたり4万円まで)	
蓄電池	(1設備あたり10万円まで 集合住宅は50万円まで)		(1設備あたり10万円まで)	
高断熱窓(既装のみ) [30年度新規]	設置に要する 経費の10%	(1設備あたり10万円まで 集合住宅は100万円まで)	設置に要する 経費の10%	(1設備あたり10万円まで)
高反射率塗装	施工面積(m <sup>2</sup> )(平方メートル)あたり1,000円を乗じた額 助成額=1,000円×施工面積(m <sup>2</sup> ) (20万円まで 集合住宅は150万円まで)		施工面積(m <sup>2</sup> )(平方メートル)あたり1,000円を乗じた額 助成額=1,000円×施工面積(m <sup>2</sup> ) (20万円まで)	
次世代自動車(電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・燃料電池自動車)	一律 10万円 ※個人での申請のみ受付可能		—	

地球温暖化防止設備導入助成事業を知っている区民の割合



出典: 温暖化対策課資料

論点2 地球温暖化対策と環境保全

⑤ 再生可能エネルギー設備を導入した区施設一覧

✓ 雨水利用54施設、太陽光発電14施設、風力発電2施設、水力施設1施設となっている

No	施設名	雨水利用	太陽光	風力	水力	設置年度
1	文化センター	雨水利用				S 5 6
2	亀戸図書館・亀戸第三児童館	雨水利用				S 5 7
3	坂東老人福祉センター	雨水利用				S 5 8
4	枝川小学校	雨水利用				S 6 8
5	第二甫砂中学校	雨水利用				S 5 8
6	深川老人福祉センター	雨水利用				S 5 9
7	道路事務所(旧西部土木事務所)	雨水利用				S 5 9
8	教育センター・東陽図書館	雨水利用				S 5 9
9	東陽中学校	雨水利用				S 5 9
10	深川江戸資料館	雨水利用				S 6 1
11	第四砂町小学校	雨水利用				S 6 1
12	残荷堅川小学校	雨水利用				S 6 1
13	特別養護老人ホーム「江東ホーム」	雨水利用				S 6 2
14	健康センター	雨水利用				S 6 2
15	東陽出張所	雨水利用				S 6 3
16	第四大島小学校	雨水利用				S 6 3
17	砂町文化センター・砂町図書館	雨水利用				H元
18	砂町出張所	雨水利用				H元
19	深川第七中学校	雨水利用				H元
20	東大島文化センター	雨水利用				H 2
21	亀戸スポーツセンター	雨水利用				H 2
22	水神小学校	雨水利用				H 2
23	第三亀戸中学校	雨水利用				H 2
24	小松橋出張所	雨水利用				H 3
25	特別養護老人ホーム「北砂ホーム」	雨水利用				H 3
26	江東公会堂(ティアラこうとう)	雨水利用				H 6
27	特別養護老人ホーム「垣根ホーム」	雨水利用				H 6
28	水辺と緑の事務所	雨水利用				H 6
29	高齢者総合福祉センター	雨水利用				H 7
30	坂東南部保健相談所	雨水利用				H 7

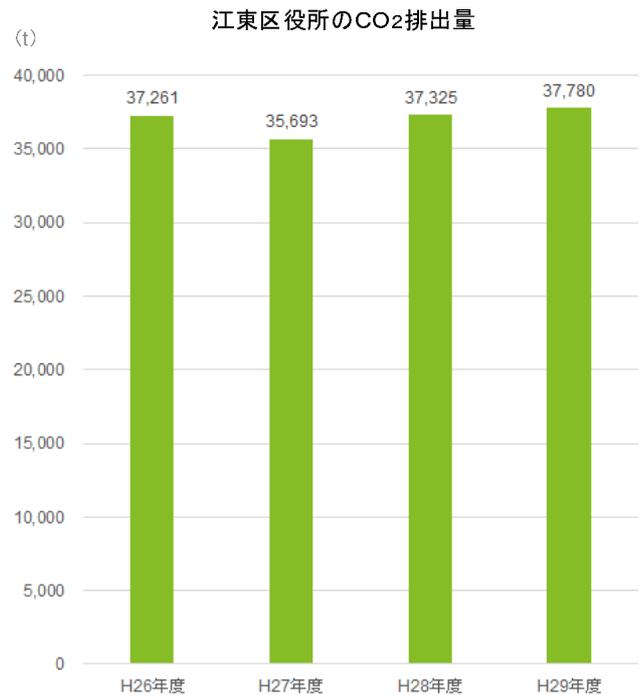
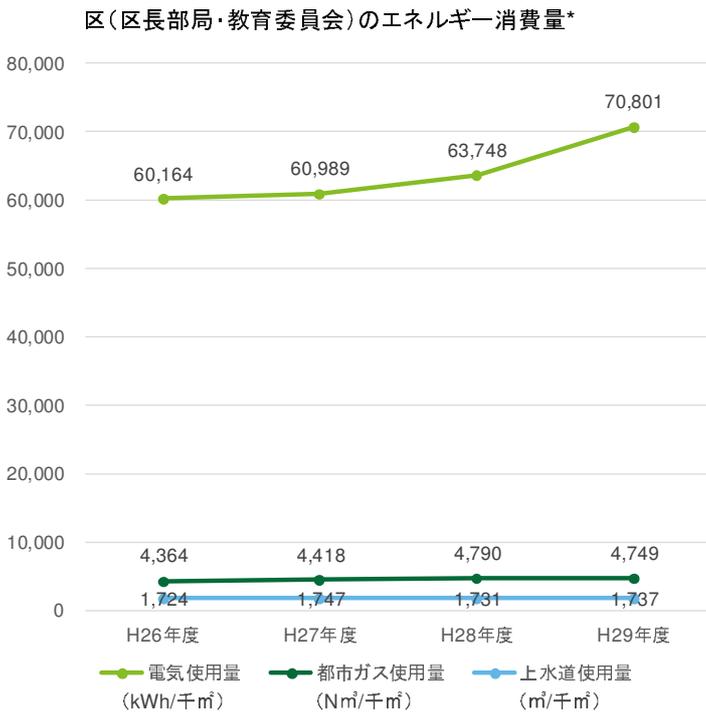
No	施設名	雨水利用	太陽光	風力	水力	設置年度
31	第一亀戸小学校	雨水利用				H 7
32	東砂福祉プラザ	雨水利用				H 8
33	豊洲小学校	雨水利用				H 1 1
34	第三大島小学校	雨水利用				H 1 1
35	亀戸文化センター「カメラアプラザ」	雨水利用				H 1 2
36	深川第五中学校	雨水利用				H 1 2
37	中川船番所資料館	雨水利用				H 1 4
38	深川北スポーツセンター	雨水利用				H 1 4
39	第三砂町小学校	雨水利用				H 1 4
40	岩洲公園			風力発電		H 1 5
41	深川第八中学校	雨水利用				H 1 6
42	防災センター	雨水利用	太陽光発電			H 1 7
43	第一大島小学校	雨水利用				H 1 7
44	児童学習情報館	雨水利用	太陽光発電	風力発電		H 1 8
45	豊洲北小学校	雨水利用				H 1 8
46	深川第三中学校	雨水利用	太陽光発電			H 1 9
47	大島南央小学校	雨水利用	太陽光発電			H 2 0
48	塩浜保育園		太陽光発電			H 2 1
49	第五砂町小学校	雨水利用	太陽光発電			H 2 1
50	南砂出張所	雨水利用	太陽光発電			H 2 2
51	有明小・中学校	雨水利用	太陽光発電			H 2 2
52	塩浜保育園		太陽光発電			H 2 3
53	東川小学校		太陽光発電			H 2 3
54	第二亀戸中学校	雨水利用	太陽光発電			H 2 5
55	豊洲西小	雨水利用	太陽光発電			H 2 6
56	マイクロ水力発電施設(水門橋)				水力	H 2 6
57	豊洲ビックセンター	雨水利用	太陽光発電			H 2 7
58	第二亀戸小学校	雨水利用	太陽光発電			H 2 7
59	有明西学園	雨水利用	太陽光発電			H 2 9

※ 雨水利用:54施設 太陽光発電:14施設 風力発電:2施設 水力施設:1施設

出典: 温暖化対策課資料

## ⑥ 公共施設のエネルギー消費量の推移

- ✓ ガス、上水道使用料は横ばいで推移しているが、電気使用料は増加傾向にある
- ✓ CO<sub>2</sub>排出量は平成27年度に減少したが、28年度以降増加傾向にある



\*区のエネルギー消費量: 数値は全て床面積当たりの数値

出典: 江東区の環境白書

## 論点3 循環型社会の形成

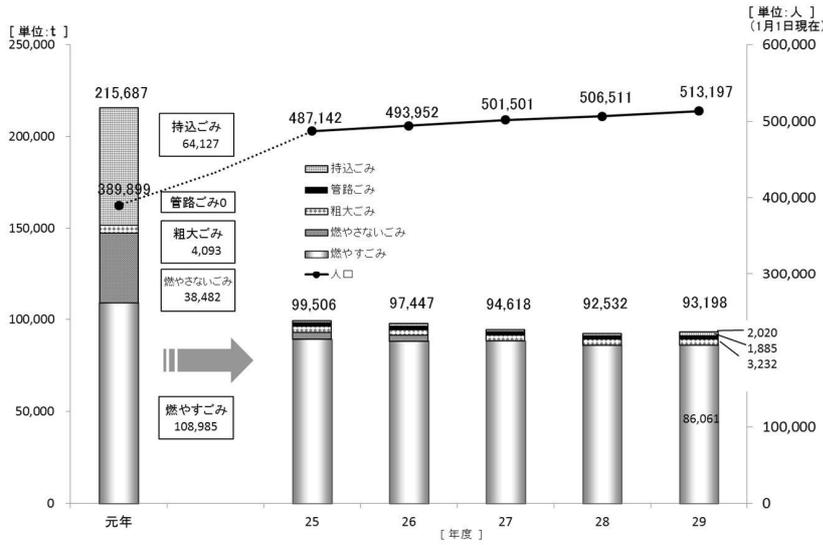
これまでの区 の取組・ 現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な資源循環型地域社会の形成に向け、5R(リフューズ・リデュース・リユース・リペア・リサイクル)(※)に取り組んでいます。</li> <li>区民1人当たり1日の資源・ごみ量は減少傾向で推移しています。</li> </ul>
社会状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の最終埋立処分場は東京港最後の埋立処分場であり、今後新たな埋立処分場の確保は困難な状況です。</li> <li>中国を始めとするアジア諸国の廃プラスチックの輸入規制導入を受け、日本国内、都区に都市部では、廃プラスチックの保管量が増大しています。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も人口増加が予測される中、さらなるごみ減量(発生・排出)と資源化を進める必要があります。</li> <li>増加傾向にある外国人住民や若年単身層へのごみの適正排出や排出マナーの強化が必要です。</li> <li>国や東京都、民間企業等と密接に連携し、意識醸成、行動喚起を促す継続的な情報発信等の活動が必要です。</li> </ul>

(※)5R: リフューズ(断る・ごみになるものを断る)、リデュース(発生抑制・ごみを発生させない)、リユース(再利用・ものを繰り返し使う)、リペア(修理・ものを修理して使う)リサイクル(再生利用・資源として再生利用する)の5つの行動のこと。

### 論点3 循環型社会の形成

#### ① ごみ量の推移

✓ 江東区全体のごみ量は平成元年をピークに減少してきたが、人口増加などの影響から近年は横ばい傾向となっている



	元年	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
燃やすごみ	108,985	89,282	88,163	88,377	85,968	86,061
燃やさないごみ	38,482	3,713	3,332	0	0	0
粗大ごみ	4,093	3,323	2,962	3,024	3,301	3,232
管路ごみ	0	1,830	1,866	1,956	1,888	1,885
持込ごみ	64,127	1,359	1,124	1,261	1,375	2,020
合計	215,687	99,506	97,447	94,618	92,532	93,198

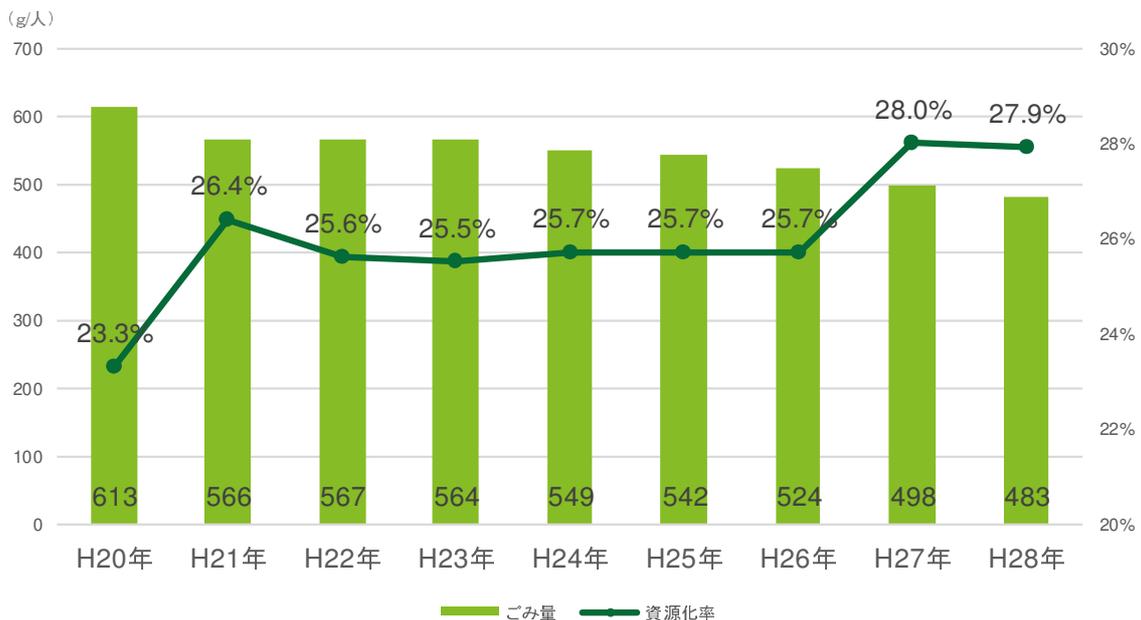
出典：江東区の環境白書

### 論点3 循環型社会の形成

#### ② 一人当たり1日のごみ量と資源化率の推移

- ✓ サーマルリサイクルの実施や容器包装プラスチックの分別回収の実施などにより、平成22年度以降、一人当たり1日のごみ量は減少している
- ✓ 資源化率\*は平成22年以降横ばいが続いていたが、不燃ごみ資源化事業の実施により、平成27年以降上昇している

\*資源化率：区が収集したごみと資源物の合計量のうち、資源物の占める割合



出典：清掃リサイクル課資料

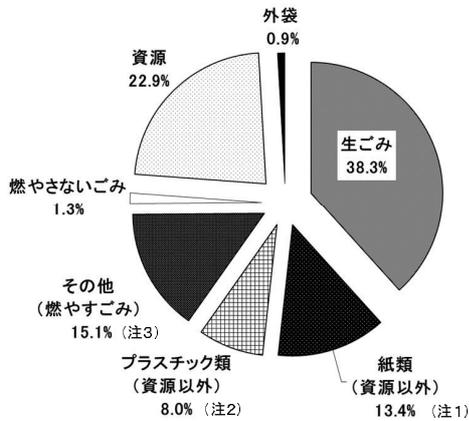
### 論点3 循環型社会の形成

#### ③ 家庭ごみの組成

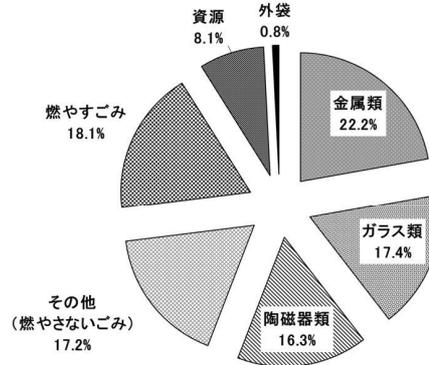
- ✓ 燃やすごみの約4割を生ごみ、約2割を資源(古紙・びん・缶・ペットボトル・容器包装プラスチック・発泡スチロール等)が占めている
- ✓ 燃やさないごみの中に、燃やすごみが約2割、資源が約1割混入している

家庭ごみの組成 (平成29年度:江東区)

燃やすごみ



燃やさないごみ



\*端数処理の関係で、合計値が一致しない場合があります

(注1)汚れた新聞、ティッシュ、紙くずなど

(注2)製品プラスチック(容器包装プラスチック以外)、汚れた容器包装プラスチックなど

(注3)ゴム・皮革、布、木など

出典:江東区の環境白書

### 論点3 循環型社会の形成

#### ④ 資源回収量の状況

- ✓ 資源全回収量は、集団回収\*による回収量の減少に伴い、平成27年度以降減少傾向にある

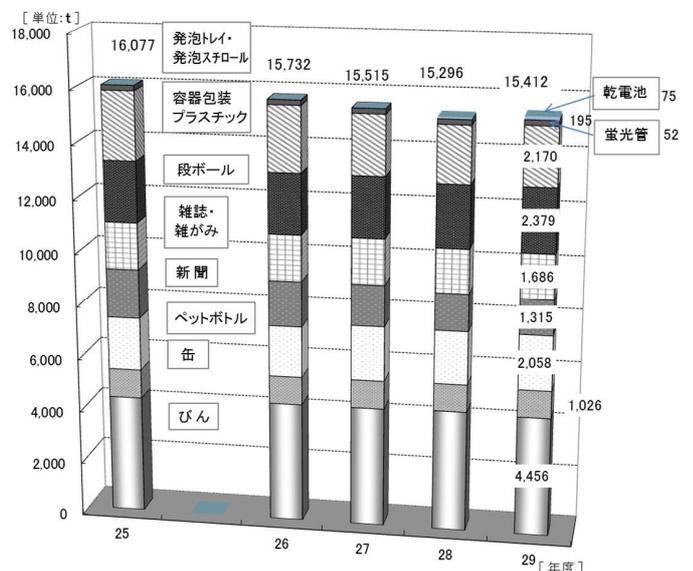
\*集団回収:町会・自治会などの地域の団体が資源を自主的に集め、回収業者に直接引き渡す取組

江東区の資源全回収量の推移

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
集積所回収	16,077	15,732	15,515	15,296	15,414
拠点回収					
古着・古布回収	95	90	96	84	87
ペットボトル	94	76	-	-	-
乾電池	18	17	16	10	-
蛍光管	11	11	10	7	-
小型家電	3	3	3	3	5
集団回収	15,447	15,013	15,100	14,486	13,670
粗大ごみピックアップ	213	410	398	373	406
不燃ごみ	-	14	3,143	2,826	2,754
その他	28	30	551	824	692
資源化合計	31,986	31,396	34,832	33,909	33,027

単位:t

江東区資源回収量(集積所回収)の推移

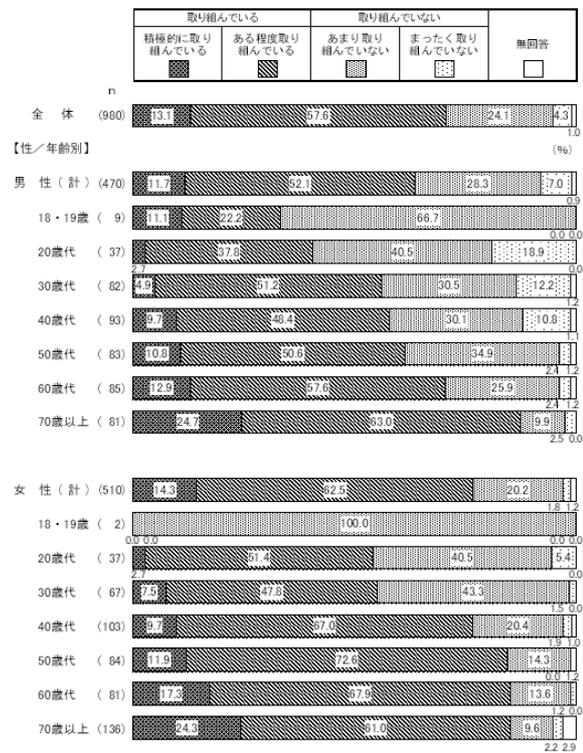


出典:江東区の環境白書

### ⑤ ごみ減量の取組状況

✓ 区民の約7割の方が何らかのごみ減量に取り組んでいるが、男女ともに70歳以上が多く、若い世代になるにつれ少なくなっている

図表5-1-3 ごみを減らす活動の取り組み状況－性別・性/年齢別



出典：第23回江東区政世論調査(平成29年度)

